

会員の皆様へ -新任のご挨拶-

このたび山内章前会長を初め、前役員の方々の強いお勧めで今期の会長をお引き受けする事になりました。本号の「2002-2003 年研究会体制」のページでご紹介した新役員・評議員の方々とともに「根研究会」発展のために努力する所存です。皆様のご支援をお願いいたします。

研究会は 2002 年 1 月から、11 年目の活動が始まりました。森田 初代会長から山内 前会長へと引き継がれてきた研究会ですが、10 年を経て会員数も 500 名を越え、昨年の国際シンポジウムの大成功を契機に益々活発な活動が期待されています。このような時期に私のようなものに会長が勤まるかどうか甚だ心もとないのですが、小柳 敦史副会長、今市涼子副会長、大門弘幸事務局長と山内章編集長の心強いサポートを受けて活動を始めました。研究会発足当時の考え方「根学の確立」を引き継ぎ、「Root research is the root of plant sciences」の信念のもと、今世紀のキーワードである環境・食糧・エネルギー問題への対処に不可欠な植物科学とその根幹である「根の研究」を文字通り根本から支える「根研究会」として益々発展していけるよう活動したいと思えます。

本研究会の特徴は学会横断的な組織であり、「根」をキーワードとした、異なる分野の情報交換が盛んであることです。とくに会誌やメーリングリストを通じての情報交換が活発です。職種、年齢、所属、研究対象などを飛び越えた情報交換と研究協力、これが本会の目的でありメリットでもあると感じています。ぜひこの点でのご参加、とくに若い方々による会誌の原稿執筆、その他、根の研究に関する情報収集・提供をお願いします。

例年、年 2 回ずつ開催されている研究集会では口頭発表とポスター発表が行われます。大学院生など若手の初発表の舞台として、また、まだまとまっていなくても意見や助言を仰ぎたい研究なども、どしどし発表していただきたく思います。さらに、特定のテーマに絞ったシンポジウムなどの企画も大歓迎です。ご提案下さい。

その他、会の運営に関する情報、あるいはご意見等を積極的に役員までお寄せいただけますと助かります。事務的なご連絡の場合は、専用の E-Mail を設けましたので、neken@nsc.nagoya-cu.ac.jp へご連絡を頂ければ幸いです。

また、阿部淳評議員（東大院農）にお世話になっているホームページとメーリングリストをこれまで通り活用していきます。積極的なご提言をお待ちしております。

2002 年 3 月 会長 谷本英一